

ファミリー・サポート・センターはあなたの子育て応援します

ファミリーサポート通信



2003年2月発行 第2号

育児のお手伝いができる方（提供会員）と
育児のお手伝いをして欲しい方（利用会員）が、
地域で育児を相互に助け合う会員組織です。



日野市ファミリー・サポート・センター
日野市日野本町 1-6-2 生活・保健センター4F
TEL/FAX 042-589-7616



ごあいさつ

平成13年9月にファミリー・サポート・センターを開設して約1年半、順調に活動実績をつんでいます。これもひとえに、会員の皆様のご理解とご協力によるものと感謝しております。

ところで、ファミリー・サポート・センターを担当する市役所の部門が女性参画推進室だということを、皆さんはご存知でしょうか。市役所の部門のひとつに女性参画推進室があること自体をご存じでない方もいらっしゃると思います。

女性参画推進室では、性別にかかわらずその人権が尊重され、誰もがその個性と能力を十分発揮できる男女平等社会の実現をめざし、施策を実施しています。昨年の4月には日野市男女平等基本条例を施行し、現在はこの条例に則した行動計画を策定すべく準備をしているところです。

いま日本社会は急速に進む少子高齢社会に直面しています。人々の生き方や価値観も多様化し、今までの男性主体の社会では行き詰まりを見せています。昔ながらの性別役割にとらわれず、男女がともに家庭、学校、職場、地域を支えあっていく必要があります。

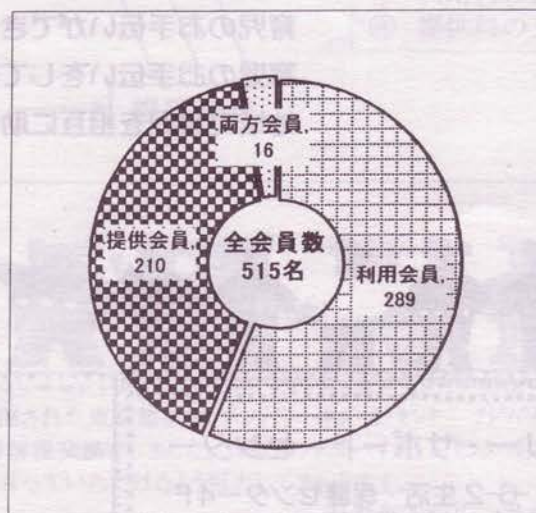
会員の皆さんもご自分のお子さんを育てるとき、子育てをサポートするとき、女の子だから、男の子だから、と枠にはめるのではなく、子どもの個性や能力を大切にして、伸ばしていくような配慮をしていただきたい。さらには、ご自分の行動や身の回りの状況を見直してみ、「何か変?」と思われることがありましたら、少しずつ変えていっていただきたくお願いいたします。

そしてそんな行動をしてくださる方が多くなることによって、子どもを産んでもいいかなと考える女性が少しは増えるのではないのでしょうか。子どもを産む、産まないは個人の選択にゆだねられるべきことですが、子どもを産みたい人が産める社会、子育ては楽しいといえる社会を皆さんとともにめざしていきたいと考えます。

(女性参画推進室長 川久保 紀子)

会員数

(平成14年12月末現在)



会員さんへお願いとお知らせ

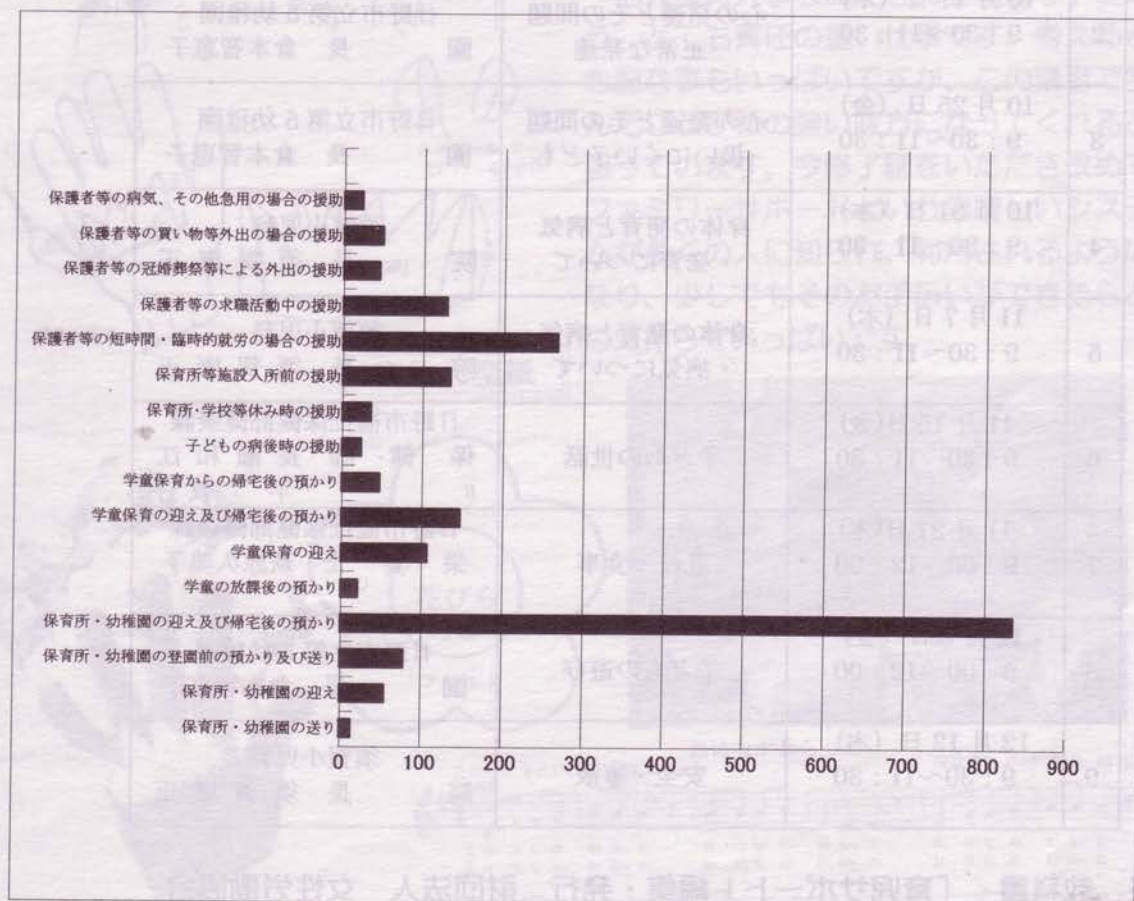
利用会員

- コーディネートは、活動する場所で行います。利用内容・要望など具体的にお話ししてください。勿論お子さんも一緒にお願いします。
- 活動日時が決定・変更になった時は、必ずセンターへ連絡をしてください。連絡のない活動は、事故があっても保険の適用外となります。

提供会員

- コーディネートの時、利用会員からの要望を全て無理に受け入れる必要はありません。できない事はできないとはっきり伝えてください。
- 活動は、保育支援に限られていますので、活動中に買い物や銀行等に立ち寄る私的行為は、禁止されています。

活動内容・件数 (平成 14 年 1 月～平成 14 年 12 月)



提供会員対象保育支援講座

保育サービス講習会実施報告

ファミリー・サポート・センターでは、昨年度に引き続き今年度も提供会員として登録された方を対象に、保育サービス講習会を実施しました。この講座は「育児中の働く人が仕事と家庭を両立させて安心して働くことができるように保育の支援を提供できる人を養成することを目的」として、平成5年度から労働省（現厚生労働省）が始めた講座のカリキュラムに準じて行いました。（内容は下表）受講者は63名、うち37名の方が全過程を修了しました。修了された方には、厚生労働省から委託を受けた（財）女性労働協会の修了証書が交付されました。なお、未終了の方には来年度の同講座にて補講を受講していただきます。よりよい活動を目指して、今後も講習会を実施します。

回	日 程	講座項目	講 師
1	10月8日（火） 9：30～11：30	保育の心	育児支援グループ 主任研究員 中山 紘子
2	10月17日（木） 9：30～11：30	心の発達とその問題 ・正常な発達	日野市立第5幼稚園 園 長 倉本智恵子
3	10月25日（金） 9：30～11：30	心の発達とその問題 ・扱いにくい子ども	日野市立第5幼稚園 園 長 倉本智恵子
4	10月31日（木） 9：30～11：30	身体の発育と病気 ・発育について	須賀小児科 院 長 須賀 康 正
5	11月7日（木） 9：30～11：30	身体の発育と病気 ・病気について	須賀小児科 院 長 須賀 康 正
6	11月15日（金） 9：30～11：30	子どもの世話	日野市福祉保健部健康課 保 健 師 長 瀬 和 江 " 平 敦 子
7	11月21日（木） 9：00～12：00	乳汁・食事	日野市福祉保健部健康課 栄 養 士 萩原久美子
8	12月6日（金） 9：00～12：00	子どもの遊び	日野市立第5幼稚園 園 長 倉本智恵子
9	12月12日（木） 9：30～11：30	安全・事故	須賀小児科 院 長 須賀 康 正

※ 教科書 「育児サポート」編集・発行 財団法人 女性労働協会
時間数 20時間

講習会で習った指人形

花と葉っぱ の作り方

★カラー/演じ方「おはながわらった」P.22



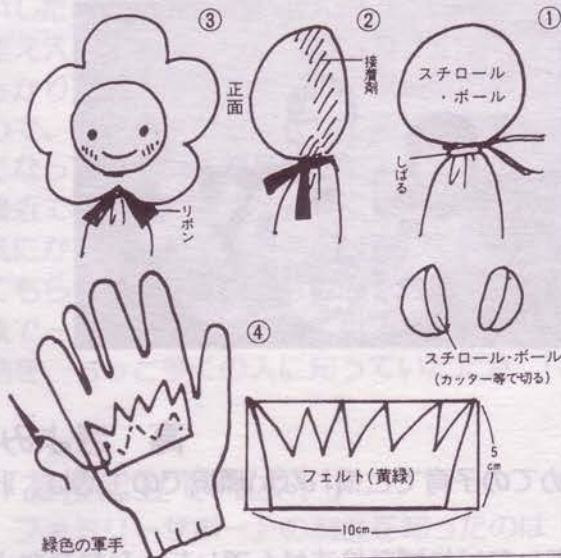
❖材料 軍手(婦人用の白)1枚/軍手(婦人用の緑)1枚/フェルト(赤5×5cm・緑5×10cm)/スチロールボール(2cm)3個(又は綿)/ビーズ(黒)10個/刺しゅう糸(赤・緑)/リボン(0.5cm幅緑色)50cm。

❖作り方①軍手の指先にスチロールボール(親指だけ丸ごと、他は半球)をつめ、糸でしっかりしる。丸みのある方が正面。

②首にリボン結び、花びらをはる。

③後ろのリボンの下から針を入れ、目(ビーズ)と口(刺しゅう糸の赤2本どり)をつける。ほお紅をつける。(P.8参照)赤色チャコや色鉛筆でもよい。

④緑色の軍手に葉っぱを縫いつける。



実物大型紙



「受講を終えて」 原 淑子

「何か子どもに係わること」がしたい、と思っていた私は、提供会員の募集に正に、「これだ!」との思いで、友人と即申し込み。ただ渡されたテキストの厚さと内容に「これは結構大変かも・・・」という気持ちになりました。平素「集中」とか「緊張」とは、殆ど無縁の生活ですし、頭もすっかりサビ付いてしまっています。

そんな思いで受け始めた講習でしたが「心の発達」「身体の発育と病気」「遊び」「事故と安全」等々、これからサポートしていく上で大切なことばかり。頭のサビも少しずつ落ちて(?)昔学んだことや、子育てを通して体験したことも甦ってきました。何よりも講師の先生方の、楽しく、わかりやすく、そして子ども達を愛する熱いハートを感じる講義で、何とか9回の講習を終えることができました。

「他人様の大事なお子さんを預かる」という、とても責任の重い仕事です。考えると心配な事もいっぱいですが、この講習で学んだことが私の強い味方になってくれると思っています。今修了証をいただき改めてファミリーサポートという素晴らしいシステムが多くの人に知られ、利用されるようになり、少しでもそのお手伝いができたらとの気持ちでいっぱいです。



おはながわらった

保富康午 作詞・湯山 昭 作曲





会員さんの声

～出会いの広場～



「世界一おいしいケーキだね！」

菊地 加代子

保育園に9年間勤務した後、結婚、そして子育て。わが息子も小学校3年生になり、そろそろ子ども達と接する仕事がないなあと思っていたとき、ファミリーサポートを知りました。平成13年保育サービス講習会を受講。久しぶりに学生に戻った気分で楽しく受講できました。平成14年9月さなみちゃんとの出会い。週3回、学童へお迎えをした後、家で預かるという活動でした。最初は、おとなしそうな？女の子だし、家の腕白坊主と仲良く遊べるだろうか？と心配しました。しかし預かってみたら、息子&ハムスターと活発に遊び、すぐに打ち解けてくれました。(後日さなみちゃんもハムスターを飼育)お母さんが残業のときは、夕食も一緒に食べ、お手伝いもしてくれます。クリスマスには、息子とケーキ作り。

イチゴやチョコなどのお菓子を飾り「世界一おいしいケーキができたね。」とニッコリ。息子には妹が、私には娘ができたみたいで家の中が明るくなりました。これからもお母さんが安心して仕事が続けられるように、そしてさなみちゃんが、我が家で楽しく過ごせるようにがんばっていきたいと思います。



「ママは安心して行ってきます」

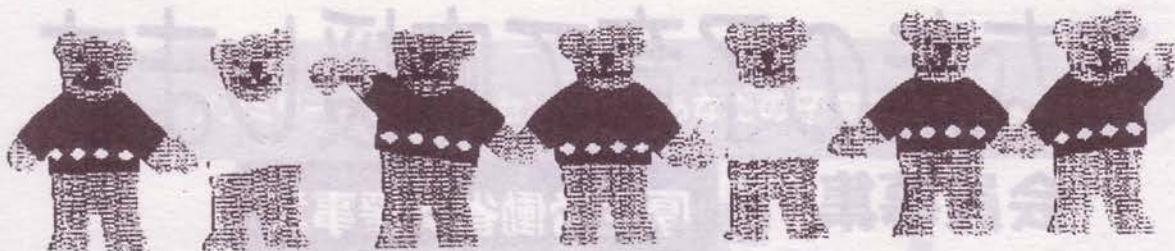
高 きよみ

日野へ越してきて1年8か月になります。初めての子育てと慣れない環境での生活は、沢山の不安がありました。

長女が6か月になった時に出産などの手続きをしなければなりませんでした。なかなか人込みの中に小さな子どもを連れて行く自信もなく、かといって実家の母の都合も合わずに預け先がなく困ってしまい、電話帳で託児ルームや保育園など探しましたが、自宅から遠く私たち親子に合う条件ではありませんでした。

そこでファミリー・サポート・センターを紹介していただき、月に1度2時間、自宅へ訪問という形で長女を預かっていただきました。長女と離れることがなく、子どもを預けるということに不安がありましたが、提供会員の方とスタッフを含めた事前の話し合いでは、長女の日々の生活の様子や体調などを細かく聞いていただきました。提供会員はベテランの主婦の方が多く、保育講習会を受講されていると聞き安心しました。

しばらくして、長女が一歳になったときに再度お願いしたところ、以前と同じ提供会員の方に来ていただけました。活発になった長女は、大好きなおもちゃや絵本で楽しい時間を過ごしたようでした。私が帰宅しても提供会員の方とベッタリで私が嫉妬してしまう程でした。そして長女だけでなく、私も提供会員の方とお話しする事は、とても参考になり、その日は親子ともども有意義な時間を過ごしています。ありがとうございました。



「お迎えの日を心待ち」

塩 佳子

ファミリーサポートにお世話になって、4か月が経ちました。我が家は夫婦共働きで現在週3回、小学1年になる娘の学童クラブへのお迎えをお願いしています。本当は、入学と同時にお願いするつもりで、事前に登録はしていましたが、保育園以外に娘を預けたことがなかったので知らない人のお宅に預けるということになんとも抵抗があり、なかなか依頼の電話をかけることができませんでした。

秋になると日も短くなり、一人で帰らせるのは心配だということで、ようやく重い腰を上げ、依頼する決心をしました。不安な私とは対照的に、娘は初めて提供会員のKさんとお会いした日から最初のお迎えの日を心待ちにしていました。Kさんは娘のことをとても暖かく迎え入れてくれ、ちょうど3年生の男の子がいらっしゃるのと一緒に遊んでもらえて娘はすっかり気に入ってすぐにその環境にも慣れてしまいました。先日私が早く帰ることができたので、当日キャンセルをして迎えに行くと、喜んでもらえるどころかKさんのお宅に行けなくなったと泣いて怒り出す始末……。それほどお迎えの日を楽しみにしているのです。最近では残業で遅くなる日には、夕食を食べさせてもらったりもしています。学校の宿題も気にかけていただいて声かけをしてくださったり、クリスマスには、一緒にケーキを作らせてもらったり、家庭的な雰囲気の中で娘は楽しい時間を過ごさせていただいています。核家族で一人っ子の娘にとっては本当にありがたいことです。こんなにあったかな助け合いの活動を、もっと多くの人に知っていただき、「わ」が広がっていくことを心から願っています。

「お役に立てれば！」

N・S

ファミリーサポートの制度を知ったのは「広報ひの」でした。30年前に働きながら二人の子どもを育てたときの苦労を思い出しながら、こんな制度があったらどんなに助かったとか、と思わずにはいられませんでした。早速提供会員として登録し、講習を受け、今まで何人かの利用会員の方に、少しはお役に立てたのかなと思っています。保育支援（学童クラブのお迎え・2人兄弟の保育）、妊産婦の方々の支援等々。各々自分にもいい体験をさせていただいています。可愛いお子さんとの会話も、遊びも、自分の孫たちと重なることもありますし、今までにないお子さんの心の発見もあります。そして、若いご両親との対話に感銘したりもします。また頼られたりすると、何か責任を感じることもありますが、自分なりの答えを出し、それが伝わってくると嬉しくなることもありました。短い時間にお子さんにご両親との親密な気持ちがうまれるのも、とてもいいことではないかと心温まる気持ちで帰ることもあります。

そして何より嬉しかったのは、今年の年賀状です。思いがけず利用会員の方から、一家の写真入の年賀状をいただき、これは何よりの自分へのごほうびのような気がしています。こんなことも励みに、これからも提供会員として、もっともっと大勢の方にこの制度を知っていただき、利用会員の方と一体になってこの事業を発展させていけたら幸いに思います。

あなたの子育て応援します

会員募集

厚生労働省支援事業

活動の内容

- 保育施設の始業前・終業後の保育
- 保育施設等への送迎
- 保育施設が休みのときの保育
- その他、育児に必要な支援

※おおむね生後6か月から10歳未満の子どもさんが対象

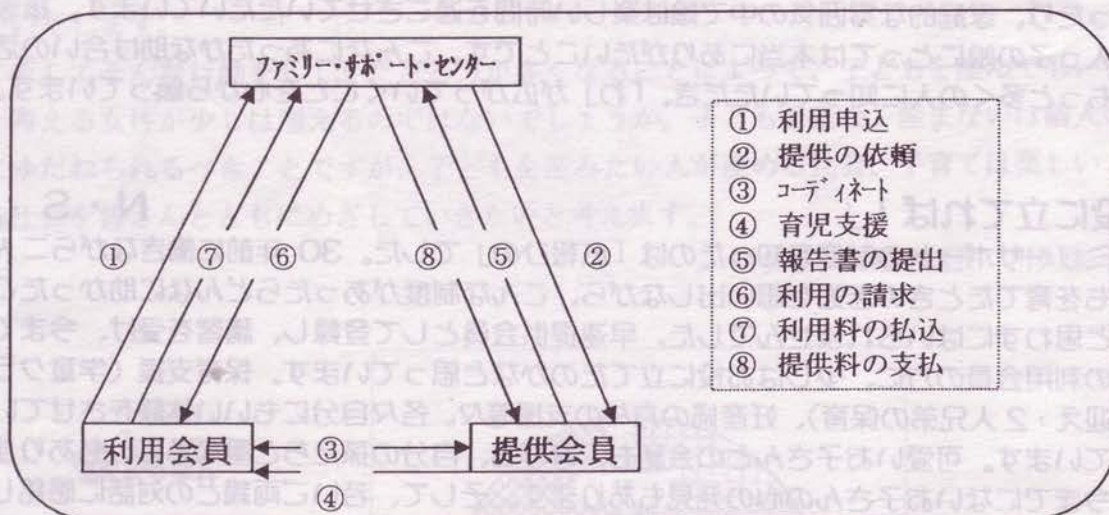
利用・提供するには

ファミリー・サポート・センターに会員登録をしてください。(登録無料)

利用料・提供料

- 1時間につき 850円 月曜日～金曜日(除く祝祭日) 9:00～17:00
- 上記以外 1時間につき 1,100円 ※交通費は利用者負担

利用・提供のしくみ



1月15、16日、東京で開催された東京都主催の「ファミリー・サポート・センター アドバイザー交流会」に参加し各地の活動状況等情報交換をしました。日野市ファミリー・サポート・センターもあつて良かったなど、一人でも多くの方に言っていただけるよう努力してまいります。

日野市ファミリー・サポート・センター